

令和元年第12回高梁市教育委員会（定例）会議録

1. 招 集 令和元年11月26日 午前10時00分
2. 開 会 令和元年11月26日 午前10時00分
3. 閉 会 令和元年11月26日 午前11時20分
4. 会議の種別 定例会（第1日）
5. 会議の場所 高梁市役所 4階会議室1・2
6. 出席、欠席した委員の番号及び氏名

議席番号	氏 名	出欠の別	備 考
1	川 上 は る 江	出 席	
2	吉 川 昭	出 席	
3	渡 邊 あ り さ	欠 席	
4	藤 井 祥 生	出 席	

7. 説明のため会議に出席を求められた者の職氏名

職 名	氏 名	備 考
—	—	

8. 会議に出席した者の職氏名

職 名	氏 名	備 考
教 育 長	小 田 幸 伸	
教 育 次 長	竹 並 信 二	
教 育 総 務 課 長	大 福 克 志	
学 校 教 育 課 長	石 原 洋 重	
社 会 教 育 課 長	渡 辺 丈 夫	
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	藤 井 正 宣	
文 化 セ ン タ ー 所 長 代 理	原 田 貴 子	
教 育 総 務 課 総 務 係 長	村 上 靖 恵	

## 第12回教育委員会（定例）会議議事要録

### 1. 開会

教育長あいさつ

11月16日付けで、吉川昭教育委員と私は再任され、任期は吉川教育委員が4年、私が3年である。皆さんとともにまた教育行政の一端を担うこととなったので、よろしくお願いする。

現在、事務局では来年度予算の編成時期を迎え、予算案を提出している。これから財政ヒアリングを受け、本格的に論議がなされる。

また、学校教育では人事異動ヒアリングがスタートし、来年度の学校体制づくりに向けて努力しているところである。

本日の定例会は、報告1件、議案10件をお諮りするので、慎重審議をお願いする。

### 2. 前回教育委員会の報告

教育長	前回の報告に対する質問、意見等はあるか。 なければ承認の挙手を願いたい。 (全員挙手)
教育長	前回の会議録は、承認する。

### 3. 教育長の報告

#### (1) 議会等

11月7日(木)	議会全員協議会
----------	---------

#### (2) 行事等

10月26日(土)	2019-20 V.LEAGUE DIVISION 1 WOMEN バレーボール高梁大会 岡山シーガルズ vs 久光製薬スプリングス [高梁市民体育館]
10月28日(月)	校園長中間面談 ※10/31
10月29日(火)	岡山教育事務所管内 教育長連絡会議 [ピュアリティまきび(岡山市)]
10月30日(水)	県会長杯秋季グラウンドゴルフ大会開会式 [有漢グラウンドゴルフ場]
10月30日(水)	有漢地域学校再編準備委員会
11月1日(金)	高梁市教育委員会表彰
11月1日(金)	高梁市教育委員会教育長表彰
11月1日(金)	岡山県教育功労者表彰
11月2日(土)	高梁総合文化祭
11月2日(土)	高梁チェリーズ交歓大会開会式 [高梁運動公園]
11月6日(水)	大村智氏特別講演会 [高梁総合文化会館]
11月6日(水)	全国大会壮行会
11月7日(木)	第70回全国学校給食研究協議大会 [メルパルク岡山ほか(岡山市)] ※11/8まで
11月7日(木)	第42回中国・四国社会教育研究大会 [岡山市民会館ほか(岡山市)] ※11/8まで
11月11日(月)	教育支援委員会
11月11日(月)	世界大会・全国大会壮行会
11月13日(水)	市政アドバイザー会議 [ホテルルポール麹町(東京都)]

11月14日(木)	納税・租税教育表彰式
11月15日(金)	校園長会
11月15日(金)	国体報告会及び高梁市教育委員会教育長表彰
11月17日(日)	JA共催ジュニアカップ軟式野球選手権大会開会式 [なりわ運動公園]
11月19日(火)	学力向上研究発表会 [高梁東中学校]
11月20日(水)	辞令交付式(教育長・教育委員)
11月20日(水)	高校生議会
11月25日(月)	校長ヒアリング
11月26日(火)	道徳授業充実拠点校研究会 [川上中学校]
11月26日(火)	移動図書館車愛称表彰式

#### 4. 議事

社会教育課長	報告第8号「高梁市文化振興基金運営審議会委員の委嘱について」は、議案に沿って事務局より説明。
教育長	何か意見等はあるか。なければ承認に賛成の方は、挙手願う。 (全員挙手)
教育長	報告第8号は、承認する。
社会教育課長	議案第82号「高梁市人権教育推進委員会委員の委嘱について」は、議案に沿って事務局より説明。
教育長	何か意見等はあるか。なければ可決に賛成の方は、挙手願う。 (全員挙手)
教育長	議案第82号は、可決する。
社会教育課長	議案第83号「高梁市青少年育成センター運営審議会委員の委嘱について」は、議案に沿って事務局より説明。
教育長	何か意見等はあるか。なければ可決に賛成の方は、挙手願う。 (全員挙手)
教育長	議案第83号は、可決する。
社会教育課長	議案第84号「高梁市成羽複合施設条例」は、議案に沿って事務局より説明。
教育長	複合施設の構成に関する第3条の条項には図書館に関する記載がないが、補足説明を求める。
社会教育課長	現在、図書館として規定しているものが高梁市図書館と成羽図書館である。 成羽図書館については、市町合併前の形態を引き継いできたが、図書館の望ましい基準として、蔵書5万冊、職員数3名、面積800㎡といったものがあり、複合施設の設置に伴い、公民館図書室としての位置付けに改める予定で、後ほど議案第87号により提案させていただく。
教育長	何か意見等はあるか。なければ可決に賛成の方は、挙手願う。 (全員挙手)
教育長	議案第84号は、可決する。
社会教育課長	議案第85号「高梁市成羽文化センター条例の一部を改正する条例」は、議案に沿って事務局より説明。

教育委員	先ほど図書館から公民館図書室に位置付けを改めるとの説明があったが、蔵書や図書館司書の配置等、現在有しているような機能は維持されるのか。
社会教育課長	現在の蔵書数は約2万冊で、これは維持できるよう施設のレイアウトや書架等を設計段階で研究してもらっている。
教育委員	現在、成羽図書館は司書資格のない臨時職員2名の配置となっているが、専門的な部分は社会教育課所属の司書が指導を行いながら対応しているところであり、この体制についても維持したい。
教育委員	また、機能については、現在も高梁市図書館と各公民館図書室はネットワークでシステムがつながっている。このほか、年数回ではあるが、高梁市図書館に所属するCCCの図書館司書と各公民館図書室職員の連絡会の場を設けており、司書資格を有しない職員のスキルアップも図っており、これも継続していきたい。
教育委員	高梁市図書館では学習室がよく活用されているが、新施設にも学習スペースを設けることとしており、子どもたちにしっかり活用してもらいたいと考えている。
教育委員	生涯学習の視点から見た場合に、個人が学ぶことで成長していくということ、また人を育てることでまちづくりにつながるということ、これらに図書館というものが大きく貢献すると考えている。そうした面では、現在、高梁市図書館はよい働きをしているのではないかと考えている。
教育長	新しい成羽図書室が地域の人々の学びの場、集いの場として活用され、人づくり、そしてまちづくりの核となる施設として活性化することを期待したい。
教育長	他に何か意見等はあるか。なければ可決に賛成の方は、挙手願う。 (全員挙手)
教育長	議案第85号は、可決する。
社会教育課長	議案第86号「高梁市公民館条例の一部を改正する条例」は、議案に沿って事務局より説明。
教育長	何か意見等はあるか。なければ可決に賛成の方は、挙手願う。 (全員挙手)
教育長	議案第86号は、可決する。
社会教育課長	議案第87号「高梁市立図書館条例の一部を改正する条例」は、議案に沿って事務局より説明。
教育長	何か意見等はあるか。なければ可決に賛成の方は、挙手願う。 (全員挙手)
教育長	議案第87号は、可決する。
社会教育課長	議案第88号「高梁市民俗資料館等条例の一部を改正する条例」は、議案に沿って事務局より説明。
教育委員	各施設の機能を複合施設に移すことになるわけだが、現行施設の活用方法等、今後の見通しはどうか。
社会教育課長	最終的な意思決定がなされた段階ではないが、現行の成羽文化センターは、平屋のホール部分以外の施設は老朽化も著しく、解体に係る財源が確保できる間に取り壊すことを想定している。特に図書館2階部分はアスベストが使用されており、これを残すことはできない。
教育長	また、複合施設建設の目的の一つが、分散する公共施設の集約であることから、現行施設については整理していく方向で考えている。
教育長	他に何か意見等はあるか。なければ可決に賛成の方は、挙手願う。 (全員挙手)
教育長	議案第88号は、可決する。
社会教育課長	議案第89号「高梁市成羽神楽館条例を廃止する条例」は、議案に沿って事務局より説明。

教育長	何か意見等はあるか。なければ可決に賛成の方は、挙手願う。 (全員挙手)
教育長	議案第89号は、可決する。
学校教育課長	議案第90号「高梁市立玉川小学校学校運営協議会委員の委嘱等について」は、議案に沿って事務局より説明。
教育長	何か意見等はあるか。なければ可決に賛成の方は、挙手願う。 (全員挙手)
教育長	議案第90号は、可決する。
学校教育課長	議案第91号「高梁市立津川学園学校運営協議会委員の委嘱等について」は、議案に沿って事務局より説明。
教育長	参考として、今年度中の小学校でのコミュニティ・スクールの導入見込みについて説明を求める。
学校教育課長	本日提案の学校も含めて、現在までに10校で設置されている。落合小学校は、12月定例会で提案の予定である。有漢東小学校と有漢西小学校は、中学校との合同設置の意向があり、令和2年度の設置を目指している。川上についても、こども園、小学校、中学校での合同設置で、令和2年度の予定である。成羽小学校は単独であるが、今年度中の設置は難しいということで、令和2年度の見込みである。
教育長	何か意見等はあるか。なければ可決に賛成の方は、挙手願う。 (全員挙手)
教育長	議案第91号は、可決する。

## 5. その他

教育委員	先般、スポーツ推進計画が策定されたところであるが、生涯学習について、高梁市としてどのような見通しを持ち、これからどのように動こうとしているのかという基本計画のようなものは定めていたか。
社会教育課長	生涯学習に特化した計画というものはないが、総合計画、まち・ひと・しごと総合戦略、教育振興基本計画、それぞれの計画の中に内容を盛り込んでいる。また、教育大綱の基本方針にも盛り込んでいる。
教育委員	生涯学習に力を入れている自治体、例えば近隣では倉敷市で、生涯学習に関する基本計画が策定されている。1枚ものの簡単なものであっても概念図があれば、高梁市はこのような視点で生涯学習を進めていくということが認識しやすいのではないかと考えている。
教育長	生涯学習という概念が学校教育も含めた全ての教育活動である。子どもから高齢者まで全市民を対象とする全ての教育活動を網羅した総合的な内容がよいのか、分野ごとの個々の計画がよいのか、考え方を整理する必要があると考える。

### (1) 各種表彰の被表彰者報告について (社会教育課長)

### (2) 高梁市文化センターの指定管理者の募集開始について (文化センター所長代理)

教育委員	今回の指定管理者の募集について、応募がなかった場合はどうするのか。
教育次長	先ほどの説明にもあったとおり、現在1件の問い合わせがある。また、応募があっても、選定審議会で可とならなければ、引き続き直営での運営となる。
教育委員	資料の収支を見ると相当の赤字となっているように思えるが、事業者にとってリスクが大きいのではないかと。
教育次長	資料の収支は1,200万円の市費持ち出しとなっているが、収益を生む事業ではないので、赤字ではなく、文化事業に経費を掛けているという考えである。 また、修繕や維持管理費は年度ごとに異なり、大規模修繕については、引き続き市で対応する必要があると考えている。なお、直営から指定管理とした場合の経費削減の効果額は、約2,000万円と試算している。

(3) ヒルクライムチャレンジシリーズ吹屋ふるさと村大会実行委員会の開催報告について

(スポーツ振興課長)

教育委員	11月21日開催の実行委員会では決算報告もあったということであるが、おおよその収支等ほどのようであったのか。
スポーツ振興課長	おおむね例年どおりの規模であるが、約1,300万円の予算での運営となっている。そのうち、参加者のエントリー料が予算ベースで約700万円。市費の予算計上としては、実行委員会に対する補助金として400万円である。残りが協賛金や物品販売の売上金となっている。
教育委員	ヒルクライムに限ったことではないが、高梁市の人口が減少し、財政状況も厳しい中において、事業のスクラップ・アンド・ビルドは不可欠であると思う。 来年度の10回目となるヒルクライムの開催に反対するつもりはないが、多くの無報酬のボランティアの協力で成り立ち、それほど収益も上がっていないイベントをいつまでも続ける意味があるのかという思いは個人的にもあるし、多くの人から聞いている意見でもある。
教育委員	また、市長が先般、自転車道を整備し、これを観光資源として活性化につなげたいといった思いを話されていたが、それとヒルクライムの両方に取り組むのは厳しいのではないかとも思う。
教育委員	来年度、11回大会以降の開催の有無等を協議するというのであれば、実際にボランティアに携わった人にアンケートを取るなりして、何か根拠となるものを基に見通しを持った上で協議していく必要がある。学校運営でもそうだが、今あることをなくすというのは、なかなか難しい。行政側がある程度かじ取りする必要もあると思うので、よろしく願います。
教育次長	ただ今のご意見については、昨年、市議会でも議論となり、大災害後の復旧・復興を最優先とすべき中での開催はいかがなものかというご意見もいただいた。
教育次長	ヒルクライムに限らず、文化事業については、収益はなかなか生み出しにくいところがある。ヒルクライムについては、交流人口の拡充、地域経済の活性化といった観点からも復興計画の中に位置付けして、10回大会までは開催するというところで取り組んでいるところである。先日の実行委員会でも、10回大会の協議と並行して、11回大会以降のあり方を協議していくことを確認したところである。ボランティアとして携わっていただいた皆さんからも大変であるというご意見も伺っているところではあるので、そのあり方も含めて検討していきたいと考えている。
教育次長	また、自転車道の整備については、ヒルクライムとは別の話である。自転車は健康によいということで議員連盟も発足していて、自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会という全国組織に高梁市も参画しており、高梁市ではどう生かせるかを考えていこうというところである。現在、自転車によるまちづくりについて検討する職員のプロジェクトチームを立ち上げており、そこで十分に議論していきたいと考えている。
教育長	財政と事業実施のバランスということは、市の最重点課題であるので、その点はしっかりと検討していきたい。
教育長	教育の施策というものは、例えば、道路のように無くては困るというものでもないことも多い。しかし、人々が文化に触れたり、スポーツに熱狂したりする機会を設けることは行政がすべき、あるいは推進すべきことのひとつと考えている。行政が主体的に行うのか、行政は支援し民間に頑張ってもらおうのか、実施の手法については検討する必要があるし、事業のスクラップ・アンド・ビルドも行っていかなければならない。ヒルクライムに限らず、いろいろな事業のあり方が問われているところでもあり、総合教育会議の場でも協議が必要ではないかと考えている。
教育委員	全てに言えることであるが、見直しで成果と課題を明らかにしていく中で、客観的なデータや根拠となる理念が明確でなければ、話し合っても大ざっぱな内容となり、なかなか方向性も定まらないと思う。しっかりと準備した上で、見直しの協議に臨んでほしい。

高梁市教育委員会会議規則第21条第2項の規定により、ここに署名する。

令和元年12月20日

署名委員

藤井 洋史

署名委員

川上 昭江

作成職員

村上 靖恵